

バイオを知る

くらしとバイオ LETTER 7

NPO法人 くらしとバイオプラザ21

2014年10月号



活動報告

ifia2014安全科学ゾーン出展 「遺伝子組換えセッション」開催

2014年5月21日JAPAN2014(第19回国際食品素材/添加物展・会議)において、遺伝子組換えセッションが開かれました。くらしとバイオプラザ21で作成した、「知っておきたいこと」シリーズ三部作(遺伝子組換え作物・食品、食品添加物、農薬)の紹介と、遺伝子組換え技術に関するわかりやすい情報提供を行いました。くらしとバイオプラザ21佐々義子による「遺伝子組換え作物・食品をめぐるリスクコミュニケーション」と題して、国内の試験栽培の状況やアンケート調査にみられる遺伝子組換え食品のとらえ方についての報告後、株式会社ファスマック代表取締役社長 布藤 聡氏より「遺伝子組換え作物の検査技術」を、明治大学農学部教授 中島春紫氏より「遺伝子組換え技術のこれまでとこれから」のタイトルで、検査技術の最新状況および遺伝子組換え技術の利用の現状と新しい方向性についてお話をいただきました。



サイエンスアゴラ2014 シンポジウム

「身近になった遺伝子検査～みんなでつきあい方を考える」

昨年NPO法人くらしとバイオプラザ21がサイエンスアゴラ賞を受賞したサイエンスアゴラに今年も参加し、シンポジウムを開きます。

テーマはDTC(Direct to Consumer)と呼ばれる、消費者がインターネットなどで直接、入手できるDNA検査です。いろいろな立場の人たちで集まって、意見交換をいたしましょう。みなさまのご参加をお待ちしています！

期日:2014年11月9日 15:30-17:00

場所:日本科学未来館(お台場) 7階 会議室2

話題提供:東京大学医科学研究所公共政策研究分野 教授 武藤香織 氏

パネリスト:コープこうべ 伊藤潤子氏

埼玉県立蕨高等学校 菅野治虫氏

個人遺伝情報取扱協議会 堤正好氏

経済産業省 生物化学産業課 柳沼宏氏 ほか

主催:NPO法人くらしとバイオプラザ21

共催:東京大学医科学研究所公共政策研究分野

個人遺伝情報取扱協議会

参加申込方法:当日受付あり。できるだけ事前申し込みをお願いします。参加希望者は、「サイエンスアゴラ2014シンポ参加希望」として、氏名、連絡先(メールアドレスなど)を記入し、下記までメールかFAXで申し込んでください。

問い合わせ窓口:NPO法人くらしとバイオプラザ21

Tel 03-5651-5810 Fax 03-3669-7810

E-mail bio@life-bio.or.jp

担当:佐々・三宅



写真:2013年サイエンスアゴラより

お申込みを
お待ちしております

2014年5月1日 カジュアルな懇話会～STAP細胞、わたしはこう思う

STAP細胞に関する調査報告書などが発表される前、東京テクニカルカレッジ講師の大藤道衛氏から、ES細胞、iPS細胞の研究の流れを踏まえて、細胞の初期化の研究と再生医療への期待についてお話いただきました。持参された実験ノートや保存されている実験サンプルの実物を見せていただき、論文査読の仕組みについてもうかがいました。一般市民、教員、サイエンスライター、芸術家など参加者全員で、専門性に関係なく、疑問や期待を語り合いました。



2014年6月17日 第12回 コンシューマーズカフェ「不安の構造 リスクコミュニケーションはなぜ失敗するのか？」



食の安全安心財団理事長 東京大学名誉教授 唐木英明氏が、これまでのBSE、遺伝子組換え食品、食品中の放射性物質など食のリスクコミュニケーションに関わってこられたご経験からお話をしてくださいました。人間は忘れる動物、人間は誤解する動物、人間は表面的な情報を信頼する動物、人間は他人の目を気にする動物、人間は細部を気にする動物、人間は不安におちいりやすいもの、人間は他人に頼る動物、リスクコミュニケーションはなぜ失敗するのか、についてうかがいました。

2014年5月15日 平成26年度通常総会記念講演会「新食品表示法の概要～法制化と今後の在り方」

銀座フェニクスプラザにおいて、日本生活協同組合連合会品質保証本部安全政策推進部部長の鬼武一夫氏(くらしとバイオプラザ21理事)より新しい食品表示法施行にむけて準備が進んでいる現状をお話し頂きました。食品表示とは、新しい食品表示法、今現在論議されていること、食品表示についてのスピーカーの想いという流れで、最後に生協の取り組みについてうかがい、パブリックコメント募集にむけて、私たちが考えなくてはならないことについて話し合いました。



2014年8月21日 「教員・一般市民向けバイオ実験教室」

東京テクニカルカレッジにて同校と共催で標記実験教室を開きました。遺伝子組換え作物・食品の利用の現状、食品としての安全性審査、作物の環境影響評価、食品表示にルールなどの説明の後、除草剤耐性遺伝子組換えダイズと、そうでないダイズのタンパク質検知実験(ストリップテスト)を体験し、その原理である抗原抗体反応について学びました。(協力 日本モンサント株式会社)

2014年7月29日 バス見学会

「一般農場と遺伝子組換え作物隔離圃場 比較見学会」

2014年7月29日、つくば農業見学会を開きました。午前中に筑波大学遺伝子実験センターで、小野道之准教授より、遺伝子組換え植物の研究の仕方、実験計画の申請と審査の仕組みについてお話をうかがいました。次に、農業生物資源研究所 田部井 豊 室長より「遺伝子組換え作物・食品」というタイトルで講演していただきました。午後は農林中央団地を訪ねました。今年は隔離圃場での試験栽培がはじまり、全員、靴カバーをつけて隔離試験圃場に入りました。暑い日でしたが、小学生からシニアまで実り多いバスの旅となりました。



バイオカフェのこの頃



3月14日くらしとバイオプラザ21事務所
日本新薬(株)東部創薬研究所 高垣和史さん
「核酸医薬:核酸を使った'くすり」



4月10日三鷹ネットワーク大学
科学ライター たんぽぽ工房代表 保谷彰彦さん
「身近な草花のヒミツ～春の雑草を楽しむために」



4月11日茅場町サン茶房
花王株式会社ヘルスケア食品研究所 森 建太さん
「現代版トクホ活用術～特定保健用食品との付き合い方」



9月12日茅場町サン茶房
武田薬品工業(株)医薬研究本部本部長室
主席部員 百瀬祐さん
「(余話)歴史から見た糖尿病とくすり」



8月8日くらしとバイオプラザ21事務所
アサヒビール研究戦略室 佐々木克哉さん
「わくわくビールセミナー」



7月10日三鷹ネットワーク大学
(独)農業生物資源研究所遺伝子組換え研究
センター 河本夏雄さん「遺伝子組換えカイ
コの衣料・医療分野での実用化」

バイオカフェからのお知らせ

お誘い合わせのうえ、お気楽においで下さい。
音楽演奏、手づくりケーキでお待ちしています。会場により事前申込みの有無、
参加費が異なります。詳細はホームページ

<http://www.life-bio.or.jp/biocafe/>をご覧ください。

● 10月10日(金)18:00～ 茅場町くらしとバイオ事務所 参加費 500円

「海外渡航時に必要な感染症の知識～マラリアにご用心」

鯉淵智彦さん 東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科 診療科長

● 11月1日(土)13:30～千葉県立現代産業科学館 参加費300円

「醤油のサイエンス」 半谷吉識(はんやよしき)さん

キッコーマン(株)研究開発本部 環境・安全分析センター長

● 11月20日(木)17:45～茅場町サン茶房 参加費 500円

「水と人との歴史」 芦刈 俊彦さん

サントリーグローバルイノベーションセンター(株)水科学研究所 所長

● 11月28日(金)17:45～ 東京テクニカルカレッジ

「研究開発から学んだ事ー質量分析計用イオン化技術、DNAシーケンサなど」

神原秀記さん 株式会社日立製作所 フェロー



2014年7月26日～27日 青少年のための科学の祭典2014に出展しました



科学技術館で開かれた「青少年のための科学の祭典全国大会」に出展し、「タッチ・ザDNA」という実験を行いました。ブースを訪れた子どもや大人全員に、トリニクかバナナからのDNA粗抽出を体験してもらいました。2日間の合計人数は135名でした。除草剤耐性遺伝子組換えダイズのタンパク質の検出実験も行い、大好評でした。

くらしとバイオプラザ21からのお知らせ

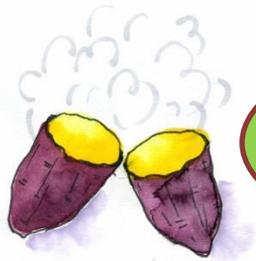
●11月15日(土) 8時30分出発 秋のバス見学会

茅場町から往復貸し切りバスで出発し、秋の国立科学博物館 筑波実験植物園と筑波宇宙センターを訪ねます。保谷彰彦さん(たんぼぼ工房代表)が同行し、講義や植物園の案内をさせていただきます。子どもからシニアまで、参加お申し込みをお待ちしています。



講師派遣報告 2014年4月～2014年9月 ()は参加者数

- 4月17日 筑波大学 第81回バイオeカフェ「最先端の科学研究の成果」講演 (30人)
- 4月23日 三井業際研究所 次世代農林水産業調査研究委員会
講演「遺伝子組換え作物・食品の現状」(20人)
- 5月17日 文部科学省科学法人育成費補助金ホストドクター・キャリア開発事業 於 名古屋大学
「サイエンスコミュニケーションについて～その手法開発と評価～」(15人)
- 7月10日 東京ライオンズクラブ ゲストスピーチ 於 帝国ホテル『松の間』
「遺伝子組み換え技術を巡る状況」(25人)
- 7月12日 京都産業大学 リエゾンオフィス主催シンポジウム講演 於 京都産業大学 むすびわざ館
「作物改良の過去・現在、そして未来へ～交雑育種から遺伝子組み換えまで～」(130人)
- 7月14日 東京大学 農学部夏学期課程生命倫理 講義「個人遺伝情報保護とDNA教育」(200人)



事務局より

入会案内

バイオに興味のある方、意見をお持ちの方は協力会員に入りませんか!!当NPO が主催するイベントの案内、発行図書などをお送りします。一緒に活動しましょう!!年会費は、一口2,000円です。お問い合わせは、下記の電話またはFAXでお願いします。



●地下鉄:東西線・日比谷線「茅場町駅」2番出口 徒歩1分

編集後記

夏休みはいろいろな場所(科学館、遺伝子組換え作物試験栽培ほ場など)でいろいろな方と、食材からDNAを取り出したり、遺伝子組換えダイズのタンパク質を検出したり、実験教室をいたしました。シニアから子供までおよそ500人余りの方が参加してくださり、一緒に楽しむことができました。本当は、主催した私たちがお礼を申し上げたいくらい、多くを学びました。これからは秋、冬のイベントが目白押しです。どうぞ、お出かけください。サポーターも大歓迎です!

NPO法人 くらしとバイオプラザ21

<http://www.life-bio.or.jp>

編集 佐々義子・二瓶美郷

カット 中村典子

〒103-0025

東京都中央区日本橋茅場町3-5-3 鈴屋ビル8階

電話 : 03-5651-5810 FAX : 03-3669-7810

e-mail: bio@life-bio.or.jp